

【日時】12月13日 19:00～ 【会場】中部学院大学 10号館4階 10401教室

【テーマ】プロ野球チームにおける理学療法士の役割と重要性

～一年間を通してわかった臨床との接点とギャップ～

【担当者】太田 利亨 先生 (所属：中日ドラゴンズ トレーナー, 理学療法士)

今回は中日ドラゴンズのトレーナー兼理学療法士である太田利亨先生による、プロスポーツ現場の現状、活動内容、業務内容、そして一年間を通しての感想などを話してもらいました。プロ世界での厳しさや、選手生命を左右するというプレッシャーの中での活動など、現場ならではのとても貴重で興味深い内容でした。

プロ野球業界では理学療法士の割合がまだまだ少なく、太田先生は、選手の怪我の状況の把握、チームスタッフ全体への報告、競技復帰までの治療プログラムの立案と、受傷から競技復帰までサポートしてみえました。プロ世界では一般スポーツとは違い早期の競技復帰が求められる為に、受傷後からの緻密なスケジュール作成が要求されるとのことでした。復帰も高いレベルが求められるために、再受傷のリスク管理と選手自身への教育が重要になると、一年を通して感じたそうです。

今回の勉強会では、日常では接する機会のないプロ野球業界での活動報告が聴講でき、普段とは違った雰囲気勉強会でした。参加された先生方からも多くの質疑があり、活発な質疑応答がなされていました。太田先生には、理学療法士が今後のスポーツ業界へさらに介入していける様に、来シーズン以降の活躍を期待したいと思います。

文責：藤崎 良倫 (中部学院大学理学療法学科3年)

水谷 隼大 (野口整形外科内科医院)